

檀原市と学校法人聖心学園との包括的な連携協力に関する協定書

檀原市と学校法人聖心学園とは、相互の人的及び知的資源の交流並びに物的資源の活用を図り、多岐にわたる分野において連携し、かつ、協力していくため、次のとおり協定を締結する。

(目的)

第1条 この協定は、檀原市と学校法人聖心学園が、街づくり、生涯学習、文化、芸術、歴史、景観、福祉、産業振興などの多岐にわたる分野において相互に連携し、かつ、積極的に協力し合うことで、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする。

(連携協力事項)

第2条 檀原市と学校法人聖心学園は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携協力する。

- (1) 地域の街づくりの推進
- (2) 生涯学習、文化、芸術、福祉の向上、スポーツ、健康づくりの振興
- (3) 歴史的背景の保全と人間生活の共生を目指す都市空間の創造
- (4) 地域産業の振興
- (5) 人材の育成
- (6) 持続可能な社会、多文化共生社会の構築
- (7) 前各号に掲げるもののほか、この協定の目的を達成するために必要な事項

(経費)

第3条 檀原市と学校法人聖心学園が、連携及び協力して行う事業に要する経費については、個別の事業ごとに協議の上、その適正な負担割合を算出するものとする。

(体制)

第4条 檀原市と学校法人聖心学園との包括的な連携及び協力を円滑かつ効果的に進めるために、檀原市と学校法人聖心学園に統括的な連絡調整の窓口を設置する。ただし、個別の事業については、それぞれの担当部署の間で連絡調整するものとする。

(情報の取扱い)

第5条 檀原市と学校法人聖心学園は、この協定に基づく事業の実施に当たり、相互に提供し又は知り得た当該事業の成果に関する情報の一切について、書面による相手方の事前の同意なしに、第三者に開示又は遺漏してはならない。

(知的財産権)

第6条 この協定に基づく事業の実施によって知的財産権が生じた場合の、権利の帰属、取扱い等については、檀原市と学校法人聖心学園が協議の上、別途その取扱いを定めるものとする。

(有効期間)

第7条 この協定は、協定締結の日から発効するものとし、檀原市又は学校法人聖心学園のいずれかから特段の申出がない限り、継続するものとする。

(その他)

第8条 この協定書に定めるもののほか、成果の利用条件その他の合意が必要な事項については、檀原市と学校法人聖心学園が協議して別に定める。

本協定の証として、この協定書を2通作成し、双方署名押印の上、それぞれ1通を保有する。

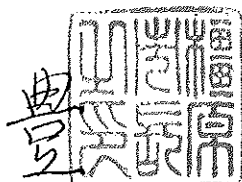
平成26年2月25日

檀原市八木町一丁目1番18号

檀原市

市長

木下



檀原市久米町222

学校法人聖心学園

理事長

中田 静太郎

